

淡江大學八十九學年度碩士班招生考試試題

系別：日本研究所

科目：日文翻譯與作文

本試題共 2 頁

本
試
題
雙
面
印
製

次の文章を読んで、質問に答えなさい。

「馬車ならで我のるものは火の車たずぬる鬼のたゆるまもなし」。日本で最初の純国産乗用車「オートモ」号を七十六年前に設計・製造・販売した豊川順弥の辞世の歌である▼彼は三菱の創立者・岩崎弥太郎の母方の血を継ぐ家に生まれ、父親が所有していた外国車を幼いころから運転するなど車に異常な関心を持っていたようだ。相続した二百万円を工作機械メーカー「白楊社」の設立と自動車国産化にそそぎ込んだ。大正期の二百万円は現在の百億円近くに相当する。こうして完成した「オートモ」号は大正十三年から昭和三年にかけて約三百台販売された▼いま東京・上野の国立科学博物館で開催中の「20世紀の国産車」展（六月四日まで）に、復元された「オートモ」号が展示されている。幌型三人乗り。当時は欧米でもほとんど見られなかった空冷エンジンで、東京—大阪間を四十時間のノンストップ走行に成功した。発売日に時の加藤高明首相も顔を見せ試乗した写真が残っているから、相当のにぎわいだったのだろう▼展示されている「オートモ」号は、豊川家から寄贈された設計図や部品をもとに科学博物館とトヨタ博物館の共同プロジェクトによって復元されたものだが、斬新な感じを受けるから不思議だ▼部品はすべて手づくりである。大量生産時代に入って、「オートモ」号は生産中止に追い込まれ、辞世の歌のようになった▼いま日本のモノづくりは、IT（情報技術）革命によって大きく変質しつつある。工場を持たない製造業がはやる時代だという。だが、豊川順弥に象徴されるモノへの「こだわり」は失ってほしくない。

（『東京新聞』「筆洗」2000/03/27）

質問1、「馬車ならで我のるものは火の車たずぬる鬼のたゆるまもなし」に句読点を打ちなさい。5%

質問2、次の漢字に振り仮名をつけなさい。15%

- ①馬車 ②純国産乗用車 ③相続 ④工作機械 ⑤開催中 ⑥幌型 ⑦欧米
⑧空冷 ⑨走行 ⑩発売日 ⑪試乗 ⑫寄贈 ⑬設計図 ⑭斬新 ⑮象徴

質問3、次の日本語を中国語に訳しなさい。20%

- ①彼は三菱の創立者・岩崎弥太郎の母方の血を継ぐ家に生まれ、父親が所有していた外国車を幼いころから運転するなど車に異常な関心を持っていたようだ。
②当時は欧米でもほとんど見られなかった空冷エンジンで、東京—大阪間を四十時間のノンストップ走行に成功した。
③展示されている「オートモ」号は、豊川家から寄贈された設計図や部品をもとに科学博物館とトヨタ博物館の共同プロジェクトによって復元されたもの

淡江大學八十九學年度碩士班招生考試試題

系別：日本研究所

科目：日文翻譯與作文

本試題共 2 頁

本試題雙面印製

のだ

④いま日本のモノづくりは、IT（情報技術）革命によって大きく変質しつつある。工場を持たない製造業がはやる時代だという。

質問4、豊川順弥の功績について述べなさい（200字程度）。20%

質問5、作文。テーマ「こだわり」。40%

◀ 注意背面尚有試題 ▶